瑞穂中学校だより

【学校教育目標：ふるさとを愛し
心身ともにたくましく 主体的に学ぶ生徒の育成】

令和6年8月9日（金） NO. 12 文責：校長 柏原 哲郎
HP アドレス https://www.unzen.ed.jp/mizuhochu

1学期を振り返って

早いもので夏休みも半ば過ぎまました。当初の計画通り何事も順調に進んでいるでしょうか。1学期終業式で各学年代表が1学期を振り返ってくれましたので、紹介します。夏休み後半に向けての思いを新たにする機会にして欲しいと思います。

「1学期の反省」 1年2組 橋口 旭陽さん

僕たちは1年生として瑞穂中学校に入学しました。色々なことが初めてで戸惑いました。特に戸惑ったのは専門部活動と部活動でした。しかし、それを先生方、先輩方が優しく対応してくださいました。教えてもらうにつれて徐々に不安なことが減っていきました。今では、部活動、専門部活動で自ら行動できるようになりました。先生方、先輩方のおかげで成長した部分を自覚できるようになりました。

次に、体育大会です。入学してすぐに体育大会の練習が始まりました。練習では複雑なこともありました。しかし、団員から優しく、分かりやすく指導していただきました。段々分かってきて、体育大会は無事に成功させることができました。

次に、6月にあった期末テストです。小学校の時は単元ごとのテストでした。しかし、中学校では今まで習った範囲が1度にテストに出ました。家でテスト範囲をしっかり復習し、テスト本番を迎えました。5教科のうち、1つ目標点数以下をとってしまい、悔しかったです。

最後に僕たちの改善点です。僕たちは中学校に入学し、1学期がたちました。その結果、中学校に慣れて時間などを守れないルーズなところが出始めました。2学期からはしっかり反省し、ルーズな点を減らせるようにしたいと思います。

「1学期を振り返って」 持永 愛桜さん

みなさんはこの1学期、楽しかったですか。私はとても楽しかったです。理由は、少しでも自分が成長したと思うからです。まずは2年生になって学級委員になったことです。学級委員として活動していく中で、難しいことがたくさんありました。特に、クラスをまとめるのが難しかったです。でも、もう1人の学級委員と協力して段々と学級委員としての仕事ができました。

次に、期末テストです。今回のテストでは自分が決めた点数よりも低かったです。この結果が出たことで、自分の得意なこと、苦手なことが分かりました。なので、苦手な教科を重点的に勉強しようと思いました。

最後に、2学期頑張りたいことは、合唱コンクールの練習を頑張りたいです。理由は、クラスで協力して歌いたいからです。また、自分やクラスがしっかりと成長しないといけないと思います。なので、学年目標の「百折不撓」のように、何度失敗してもあきらめない自分やクラスになっていきたいです。

「1学期、頑張ったこと」 益田 陵汰さん

僕が1学期頑張ったことは2つあります。1つ目は勉強です。僕は1学期末テストでは、良い点を取るために勉強をしてきました。テストの結果はあまり良くなかったですが、苦手な教科のテストでいつもより良い点を取れてうれしかったです。中総体も終わり、夏休みからは受験に向けて毎日コツコツ勉強して、第1志望の高校に受かるように頑張りたいです。また、期末テストや学力テストでも点数が少しでも上がるように復習などをしていきたいです。

2つ目は、中総体です。僕は中総体の目標で、団体戦は優勝、個人戦では打倒千々石、国見で日々練習に励んできました。しかし、大会前日に体調を崩してしまい、明日、試合に出られるのだろうかと不安な気持ちで一杯でした。翌日、体調は少し良くなり、試合に出られるぐらいまで回復しました。午前は団体戦、午後は個人戦でした。団体戦の結果は、1勝2敗で4位でした。個人戦の結果は千々石に負け、ベスト4でした。打倒千々石を目指していて、今までも戦ってきて、2勝1敗で、力量はほぼ同じぐらいだから余計に悔しかったです。高校でも部活は続けるので、この悔しさをバネに高校でも頑張りたいです。

以上の2つのことを忘れずに、学級目標である「切磋琢磨」しながら2学期を頑張りたいです。

また、終業式後には7／27（土）に長崎ブリックホールで開催された長崎県吹奏楽コンクール県央大会に出場する本校吹奏楽部による課題曲の演奏披露（右写真）がありました。僅か6名での演奏でしたが、一人一人のひたむきな姿に手ごたえを感じたところでした。本番では見事、昨年度に引き続き**「銀賞」**を獲得することができました。演奏披露後の1週間、ラストスパートをかけて一生懸命に練習した成果が出ました。知り合いの先生が、「6名の瑞穂中生徒の演奏を聴いていて、涙が・・・」というお話もいただきました。また、審査員の先生方からもこれからの課題とは別に、次のような評価をいただきました。**「丁寧な演奏。息の合ったアンサンブル。各々が美しい音色で大変良いです。」「6人でつくる、優しく美しい音楽。素敵でした。」「少ない人数ですが一人ひとり良く吹けていますね。伸び伸びと吹いている姿には好感が持てます。」等々。出場校中、最少人数（6名）での銀賞獲得、見事**でした。

また、当日は雲仙市中学生ソフトテニス夏季大会が開催され、本校の**坂口 翔太・益田 航汰ペアが準優勝**を飾り、8／17（土）に県立総合運動公園テニスコート（諫早市）で開催される第43回長崎県中学生夏季選手権大会に出場を決めました。これからに繋がる良い経験を積んできて欲しいと思います。

第74回社会を明るくする運動 第17回雲仙市中学生弁論大会

8／2（金）に開催された標記弁論大会に**3年 髙木 奈々さん**が出場しました。演題を「恐怖を超えて」として、性被害の怖さやそれに繋がるSNSの光と影について自分の思いをしっかりと伝えてくれました。講評では、「思いを強くする場面では凄い迫力で、圧倒されました。」という言葉をいただきました。また、講評とは別に、閉会あいさつの中で、髙木さんの訴えの中の「光と影」を取り上げ、それについての思いも語られました。それだけ印象に残る素晴らしい弁論でした。結果は**優秀賞（雲仙市教育長賞）**を獲得しました。本当に良く頑張りました。

79回目の長崎原爆の日

長崎市に原爆が落とされ79回目の今日を迎えました。みんなで原爆による被害を受けた方々、そして戦争によって被害を受けた方々に思いを寄せ、二度と戦争のない世界を願いました。詳しくは次号で。